

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第 60 回 溶接学会若手会員の会運営委員会議事録

若手会員の会運営委員会 副委員長 庄司 博人 (大阪大学)

Minutes of the 60th meeting of the WELNET steering committee

日 時：平成 31 年 4 月 18 日 (木) 12:00 ~ 13:00

場 所：学術総合センター 1 階 特別会議室 102

資 料：welnet60-0 議案

welnet60-1 第 59 回運営委員会議事録 (案)

welnet60-2 平成 30 年度下期活動報告・2019
年度活動計画

welnet60-3 会計報告

welnet60-4 全国大会関係

(welnet60-5 編集関係, 資料無し)

welnet60-6 広報・ML 関係

welnet60-7 研究会・施設見学会関係

welnet60-8 勉強会関係

welnet60-9 出前講義関係

(welnet60-10 グローバルネットワーク活動関
係, 資料無し)

出席者：荻野 (大阪大学), 庄司 (大阪大学), 松田 (大
阪大学), 瀧田 (秋田県産業技術センター), 鳥形 (IHI),
笠野 (住友重機械工業), 三浦 (福井大学), 鴫田 (大
阪大学), 山下 (大阪大学), 劉 (大阪大学), 北野 (NIMS),
三輪 (神戸製鋼所, 秋山代理), 坂野 (三菱重工業, 奥
田代理), 久保 (岩手県工業技術センター), 近藤 (ダ

イヘン), 佐々木 (日立造船), 猿渡 (日本製鉄), 澤西 (JFE
スチール), 田中 (東芝エネルギーシステムズ), 廣畑 (大
阪大学), 吉川 (川崎重工業) (敬称略)

出席 21 名, 委任 12 名 (運営委員会総数 37 名)

書 記：庄司

【審議・報告事項】

前回委員会において審議時間が不足したため, 今回
は事前に配布資料を運営委員各位にメールにより配布
した. 配布資料に記載の報告事項について, 委員から
の意見等は特に無かった.

1. 新運営委員紹介

荻野委員長より, 以下の新運営委員が紹介された.
佐々木要輔氏 (日立造船), 田中大輝氏 (東芝エネルギー
システムズ)

2. 平成 30 年度下期活動報告・2019 年度活動計画

荻野委員長より, welnet 60-2 に基づいて 2019 年度
の活動計画が報告された. 春季全国大会のイブニング
フォーラム, 秋季全国大会のポスターセッション, 研

研究会・施設見学会，出前講義が計画されている旨が説明された。

3. 会計報告

山下委員より，welnet 60-3に基づいて平成30年度の収支について報告がなされた。本年度に予定されている出前講義の講師の旅費が計上されている旨が報告された。また，消費税増税による支出増が見込まれることが説明された。若手の会の予算はやや黒字になっているが，活動活性化のため積極的に活用することを検討する。委員にも若手イベントへの積極的な参加が呼びかけられた。

4. 全国大会関係

松田委員より，welnet 60-4に基づいて全国大会イベントに関する報告がなされた。

ポスターボード設置を業者に依頼することが報告された。

春季全国大会のイブニングフォーラムについて，来年度も日本溶接協会若手研究報告との連動させる方向を続けていくことが報告された。また，今回のイブニングフォーラムにも積極的な参加が呼びかけられた。今回は例年と異なり，多数の講演を短時間で行う形式としているが，例年の少数で長時間の講演の場合とどちらがよいか，今回のフォーラムで様子を見て検討することとした。

5. 編集委員会関係

笠野委員より，溶接学会誌若手ページの内容とスケジュールについて報告がなされた。内容が例年と同様に決まってしまう部分もあるが，出前講義など新しい活動についてもPRできればという意見があった。

6. 広報・ML関係

劉委員より，welnet 60-6に基づいてメーリングリストに関する報告がなされた。若手会員に対してイベントをより効果的に周知するため，welnetメーリングリストを35歳以下の若手会員全員宛てに変更することが決定されたことが報告された。この変更により，メーリングリストの宛先のうち70～80%程度が変更になったと報告された。また，変更に至った経緯について荻野委員長から説明が加えられた。また，リストに

は学生会員も含まれており，若手イベントの周知等に積極的な活用が呼びかけられた。

7. 研究会・施設見学会関係

三浦委員より，welnet 60-7に基づいて本年度の研究会・施設見学会の活動計画について説明がなされた。第1回は7月19日（金）に住友重機械工業（株）横須賀製造所で開催の予定。第2回は10月頃に菊川工業（株）での開催を調整中である旨が説明された。第3回について，九州支部若手グループとの共催という形で開催していたが，九州支部若手グループの活動は昨年度で終了したため，九州支部との共催という形式を検討している。しかし，九州支部の担当者とまだ調整ができず，調整ができ次第連絡する旨が説明された。講演者は必ずしも若手（35歳以下）でなくてもよいし，溶接学会の会員でなくてもよいという旨の説明がなされた。

8. 勉強会関係

鴫田委員より，welnet 60-8に基づいて勉強会に関する報告がなされた。今年度も研究会・施設見学会と一緒に開催する予定であることが説明された。勉強会は講演者と聴講者の相互の情報交換を行うことが目的であるが，より効果的な勉強会にするための案を検討中であることが説明された。

9. 出前講義関係

鴫田委員より，welnet 60-9に基づいて出前講義に関する実施状況と今後の予定について説明がなされた。現状，第2回出前講義として山下先生が佐世保工業高等専門学校（長崎県）で，第3回出前講義として鴫田先生が千葉県立千葉高校（千葉県）で行うことが予定されている旨が説明された。

講演者にもメリットがある形にするため，所属機関との共催とする案が示された。しかし，学会から機関に共催依頼をする形になり，手続きが煩雑となる懸念があることが説明された。

今後の実施手順，出前講義申請書案，参加者アンケートについて，資料2～4に基づいて説明がなされた。講義資料については，出前講義だけでなく所属機関における講義での活用も呼びかけられた。

年に3回程度の出前講義を継続するためには，各委員が若手の会に在籍する間に1度は講義を行うことが必要になるため，協力が呼びかけられた。派遣先は出

身校だけではなく、各委員の近隣の高校などで実施してもよい。また、配布物（溶接がってん！、溶接女子の付箋等）は溶接協会から配布許可いただいている。企業の方は企業のノベルティ（ロゴ入りペン等）を配布も検討いただきたく、講義の中で企業の紹介を含めることも可能と説明がなされた。

10. グローバルネットワーク活動関係

荻野委員長より、グローバルネットワーク活動に関する計画が説明された。IIW (Bratislava, Slovakia) における young professional イベントについて、IIW に参加予定の委員に対し積極的な参加が呼びかけられた。日本開催のときのためにも情報収集を行うこととした。

IIW 主催の Young Professionals のための国際会議 YPIC2019 (Budapest, Hungary) には山下先生が参加する予定であることが報告された。

Visual-JW 2019 & WSE2019 (大阪) において、若手セッションを開催することが提案されたが、審議する時間が不足しているため今回は見送ることとした。次

回以降の Visual-JW など日本で開催される国際会議でのセッション開催を目指し、審議を継続することとした。例えば、Visual-JW 内でセッションを開催する場合には4～5件程度のプレゼンターを集める必要があるが、Visual-JW に参加予定の海外の大学等の先生の学生に発表をお願いする等の案が説明された。その場合、参加費の補助が可能であるかについて提案があったが、金額的には補助は可能であるが（参加費 45,000 円、学生は 30,000 円）、若手の会だけで決定できる事項ではないため、運営側との相談が必要である旨が説明された。また、交流会や IIW Young Professionals イベントのようなものを開催する案や、前後日程でシンポジウム・セミナー等を開催する案などが提案された。

読者の **Goiken-bako** (御意見箱) 受付中! 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送または FAX でお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号 1 名様に Quo カードを差し上げます。

◆送付先： 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20
溶接会館 6F

FAX: 03-5825-4331
(Subject に "Goiken-bako" と御記入ください)

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名、フリガナ、年齢、溶接学会入会年、所属、住所 (Quo カード送付先)
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。()
- (3) 「自由編集ページ」についてのご意見・ご感想。
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事 (ページ番号でお答えください)。
- (4-2) 今月の溶接学会誌についてのご意見・ご感想。
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事。